

質問書に対する回答
首都圏中央連絡自動車道 多古北工事

番号	質問箇所	質問事項	回答
1	金抜設計書2-(6) 構造物掘削	13,685m ³ と記載されていますが、調整池の構造物掘削(普通部)の数量246.5m ³ 及び267.6m ³ が計上されていないのではないのでしょうか。	調整池の構造物掘削(普通部)の数量246.5m ³ 及び267.6m ³ については、特記仕様書24-27(3)作業内容及び(6)支払に示すとおり、放流施設工に含まれます。
2	金抜設計書4-(7) コンクリート枠	基礎部掘削289.3m ³ の運搬場所及び運搬距離が不明です。運搬先等をご教示願います。	基礎部掘削において発生する土砂については、はねつけとお考えください。
3	金抜設計書 特-(1) 地盤改良工	改良材Tが8,130tと記載されていますが、8,210tではないのでしょうか。	地盤改良工 改良材 Tの数量は金抜設計書に示すとおり、8,130tです。なお、特記仕様書24-15-7(6)をご確認下さい。
4	金抜設計書3-(1) 表層排水工A	特記仕様書で現地発生土(土砂B相当)とありますが、運搬距離が不明です。ご教示ください。	貴社の施工計画に基づきお考えください。